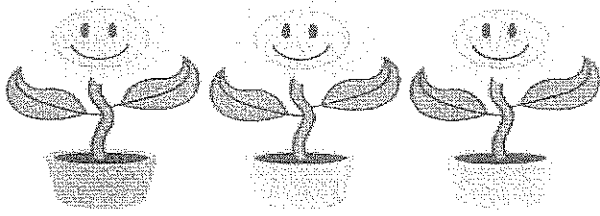


西大和学園補習校四年 国語②

# 夏休みの宿題

四年 組 名前

けいなくてき とりくまう  
計画的に取り組もう!



1、「漢字の学習」漢字の学習P44「帯」まで  
(P12、22、31、40 「かだめし」もやります)

2、漢字のプリント 3まい

★どちらにも丸つけをして、まちがっていた問題はなおしましょう。  
そこまですぐが宿題です。

漢字を書き終らな。一線の言葉は、漢字と送りがない書きましよう。

①  の花。

②  じる。

③  業。

④ 国  。

⑤  後。

⑥  会長。

⑦ 大  。

⑧ 具体  。

⑨ 辞  。

⑩  会。

⑪ 方  。

⑫  する。

⑬  読み。

⑭  考書。

⑮  番。

⑯  夜。

⑰  内。

⑱  全。

⑲  点。

⑳ 大  。

㉑ 予  。

㉒ 出  する。

㉓ 実  室。

㉔ 記  。

㉕ 北  。

㉖ 成  。

㉗ 目  。

㉘  木。

㉙  又。

㉚ 配  。

㉛ 商店  。

㉜ 書  。

㉝ 有  。

㉞  通。

㉟ ノーベル  。

㊱  庫。

㊲  会。

㊳ 印  。

㊴  けつ。

㊵  心をもつ。

㊶  。

㊷  。

㊸  。

㊹  。

㊺  。

㊻  。

㊼  。

㊽  。

㊾  。

㊿  。

漢字を書きまじらう。——線の言葉は、漢字と送りがないで書きまじらう。

- ① 自  しん  がある。
- ② 発  たっ 。
- ③ (  )  
空をとぶ。
- ④  せき  につく。
- ⑤ 近  べん 。
- ⑥  けん  せつ。
- ⑦ 野  さい 。
- ⑧ 目  じろし 。
- ⑨ インド  ぞう 。
- ⑩ 買  おまう  渠。

- ⑪ 公  きよう 。
- ⑫ 部屋の  しょう  明。
- ⑬  ねっ  心。
- ⑭ 風  けい 。
- ⑮ 京都  ふ 。
- ⑯ (  )  
時をつげる。
- ⑰ 市  がい  地。
- ⑱ 古い  せき  所。
- ⑲  じ  書を引く。
- ⑳ 百科事  てん 。

- ㉑ 音  ぐん  と 。
- ㉒ 人  ろい 。
- ㉓ 道  じゆん 。
- ㉔  あい  用する。
- ㉕  おつと  とつま。
- ㉖  さく  年。
- ㉗ 点  とう  する。
- ㉘  し  会。
- ㉙ 水道  かん 。
- ㉚ 会  ぎ 。

- ㉛ 名  あん 。
- ㉜ 持  さん  する。
- ㉝ (  )  
話にくわわる。
- ㉞  まと  をねらう。
- ㉟ (  )  
ひもをむすぶ。
- ㊱ (  )  
役目をはたす。
- ㊲ (  )  
本をえらぶ。
- ㊳ 小  せつ  家。
- ㊴ 大  せい  功。
- ㊵ (  )  
点をうしなう。

- ㊶  てきにやぶれる。
- ㊷ (  )  
もつとも大切。
- ㊸  りく  地。
- ㊹ 笑  けん  室。
- ㊺ 用  ほう 。
- ㊻  ろく  音。
- ㊼  ひっ  死。
- ㊽ 重  よう  な本。
- ㊾ 面  せき 。
- ㊿ 北  きよく 。

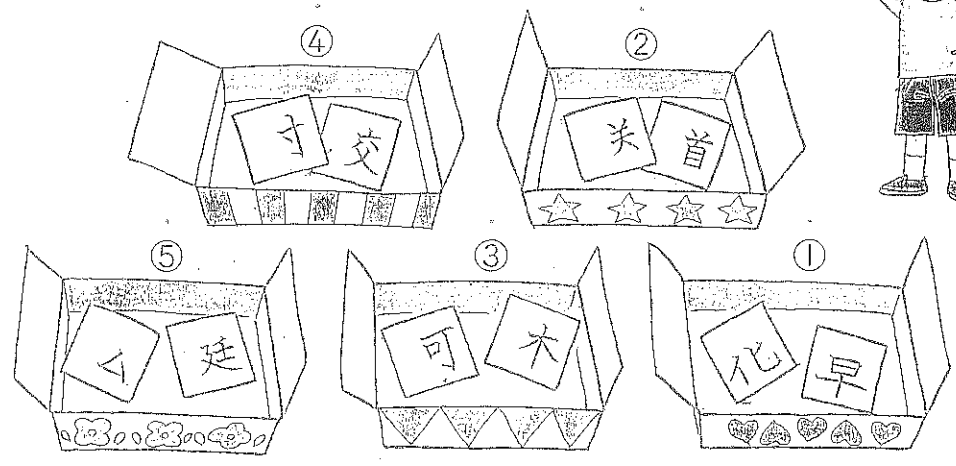
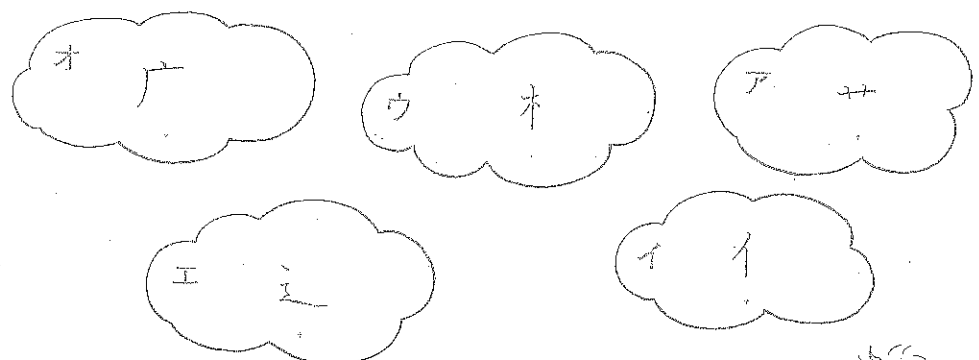
漢字を書きましよう。線の言葉は、漢字と送りがなで書きましよう。

① 信 <small>しん</small> がある。	② 達 <small>たつ</small>	③ 飛ぶ <small>とぶ</small> 空をとぶ。	④ 席 <small>せき</small> につく。	⑤ 辺 <small>へん</small>	⑥ 建 <small>けん</small> せつ。	⑦ 菜 <small>さい</small>	⑧ 印 <small>しるし</small>	⑨ インド 象 <small>ぞう</small>	⑩ 腸 <small>ちよう</small> 薬。
⑪ 公 <small>きよう</small>	⑫ 部屋の 照明 <small>しょうめい</small>	⑬ 熱心 <small>ねつしん</small>	⑭ 風景 <small>けいけい</small>	⑮ 京都 府 <small>ふ</small>	⑯ 告げる 時をつげる。	⑰ 街 <small>がい</small> 地。	⑱ 古い 関所 <small>せき</small>	⑲ 辞書 <small>じしょ</small> を引く。	⑳ 百科事 典 <small>てん</small>
㉑ 音と 訓 <small>くん</small>	㉒ 人 類 <small>るい</small>	㉓ 道順 <small>じゆん</small>	㉔ 愛用 <small>あいよう</small> する。	㉕ 夫 <small>おつと</small> とつま。	㉖ 昨 <small>さく</small> 年。	㉗ 点 灯 <small>とう</small> する。	㉘ 司 会 <small>し</small>	㉙ 水道 管 <small>かん</small>	㉚ 会 議 <small>ぎ</small>
㉛ 名 案 <small>あん</small>	㉜ 持 参 <small>さん</small> する。	㉝ 加わる 話にくわる。	㉞ 的 <small>まと</small> をねらう。	㉟ 結ぶ ひもをむすぶ。	㊱ 果たす 役目をはたす。	㊲ 選ぶ 本をえらぶ。	㊳ 小 説 <small>せつ</small> 家。	㊴ 大 成 <small>せい</small> 功。	㊵ 失う 点をうしなう。
㊶ 敗れる ときにやぶれる。	㊷ 最も もつとも大切。	㊸ 陸 地。	㊹ 実 験 <small>けん</small> 室。	㊺ 用 法 <small>ほう</small>	㊻ 録 音 <small>ろく</small>	㊼ 必 死 <small>ひつ</small>	㊽ 重 要 <small>よう</small> な本。	㊾ 面 積 <small>せき</small>	㊿ 北 極 <small>きよく</small>

漢字を書きましよう。線の言葉は、漢字と送りがなで書きましよう。

① 梅 <small>うめ</small> の花。	② 信 <small>しん</small> じる。	③ 卒 <small>そつ</small> 業。	④ 国 <small>みん</small> 民。	⑤ 最 <small>さい</small> 後。	⑥ 副 <small>ふく</small> 会長。	⑦ 大 <small>じん</small> 臣。	⑧ 具 体的 <small>てき</small>	⑨ 辞 典 <small>てん</small>	⑩ 司 <small>し</small> 会。
⑪ 方 <small>ほう</small> 法。	⑫ 愛 <small>あい</small> する。	⑬ 訓 <small>くん</small> 読み。	⑭ 参 <small>さん</small> 考書。	⑮ 順 <small>じゆん</small> 番。	⑯ 昨 <small>さく</small> 夜。	⑰ 案 <small>あん</small> 内。	⑱ 完 <small>かん</small> 全。	⑲ 要 点 <small>よう</small>	⑳ 大 陸 <small>りく</small>
㉑ 予 <small>こく</small> 告。	㉒ 出 <small>せき</small> 席 する。	㉓ 実 験 <small>けん</small> 室。	㉔ 記 録 <small>ろく</small>	㉕ 北 極 <small>きよく</small>	㉖ 成 <small>こう</small> 功。	㉗ 目 標 <small>ひよう</small>	㉘ 材 <small>さい</small> 木。	㉙ 例 文 <small>れい</small>	㉚ 配 達 <small>たつ</small>
㉛ 商店 街 <small>がい</small>	㉜ 書 類 <small>るい</small>	㉝ 有 害 <small>がい</small>	㉞ 共 通 <small>きよう</small>	㉟ ノーベル 賞 <small>しょう</small>	㊱ 倉 庫 <small>そう</small>	㊲ 議 会 <small>ぎ</small>	㊳ 印 象 <small>しょう</small>	㊴ 清 けつ <small>せい</small>	㊵ 関 心 <small>かん</small> をもつ。
㊶ 選ぶ くつをえらぶ。	㊷ 必ず かならず行く。	㊸ 辺り 学校のあたり。	㊹ 失う 点をうしなう。	㊺ 加える 水をくわえる。	㊻ 熱い あついお湯。	㊼ 結ぶ ひもをむすぶ。	㊽ 建てる 家をたてる。	㊾ 果たす 使いはたす。	㊿ 積もる 雪がつもる。

箱の中のなかまの漢字から、あるはずの大事な一部分がとんでいてしまいました。正しい漢字になるように、それぞれの部分を雲の中からさがして、——線でつなぎましょう。



上と下の漢字の部分(へんとつくり)を組み合わせて、一つの漢字を作りましょう。へれいへん十反↓板

④	③	②	①
彳	女	日	糸
+	+	+	+
每	姿	青	冬
↓	↓	↓	↓
□	□	□	□

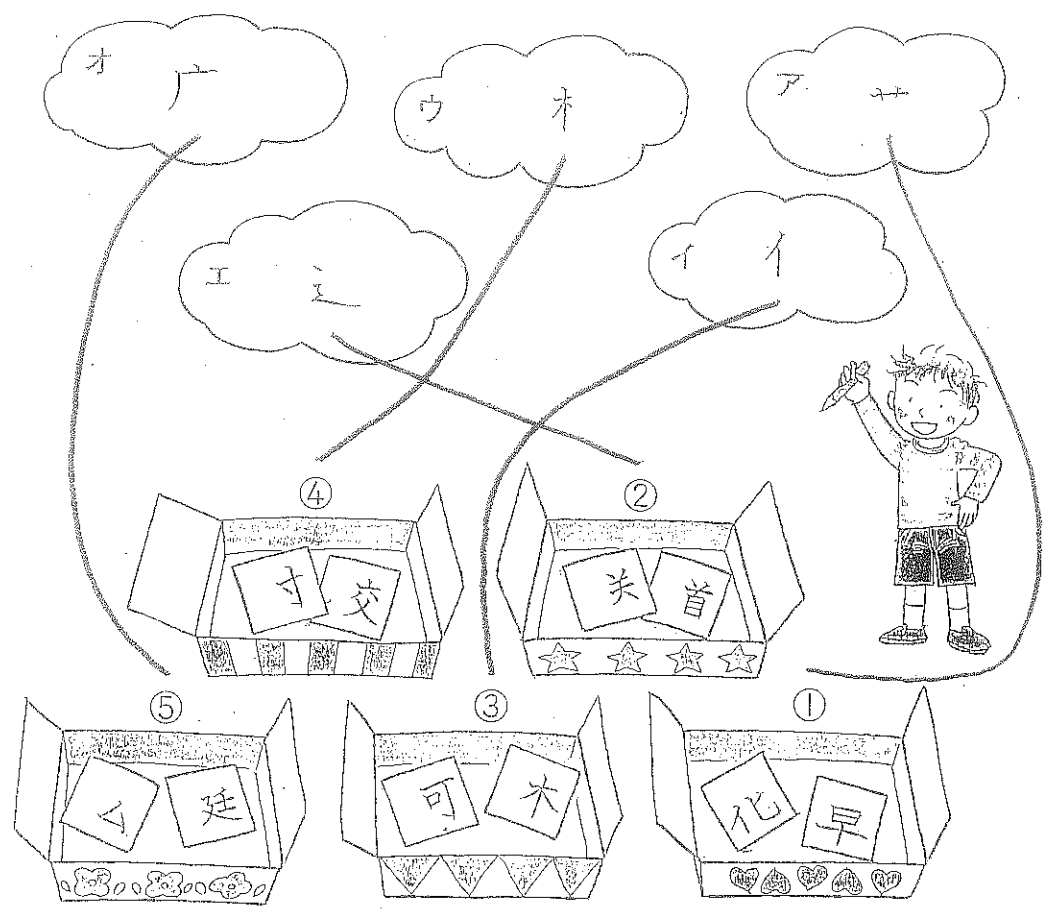


こういう部分が組み合わされて、一つの漢字ができていますね。

①～⑦の□の部分をもつ漢字を、それぞれ「」からえらんで□に書きましょう。

	⑦	⑤	③	①
悲	かまえ	たれ	かんむり	へん
係	□	□	□	□
部	寒	庭	放	園
間	追	守	調	感
追	⑥	④	②	
守	によう	あし	つくり	
調	□	□	□	
感	□	□	□	
庫	□	□	□	
速	□	□	□	

箱の中のなかまの漢字から、あるはずの大事な一部分がとんでいつてしまいました。正しい漢字になるように、それぞれの部分を雲の中からさがして、——線でつなぎましょう。



上と下の漢字の部分(へんとつくり)を組み合わせて、一つの漢字を作りましょう。へれいへん(木+反)板

④	③	②	①
シ	文	日	糸
+	+	+	+
毎	婁	青	冬
↓	↓	↓	↓
海	数	晴	終



こういふ部分が組み合わされて、一つの漢字ができていますね。

①〜⑦の□の部分をもつ漢字を、それぞれ「」からえらんでに書きましょう。

	⑦	⑤	③	①
	かまえ	たれ	かんむり	へん
悲	□	□	□	□
係	□	□	□	□
部	□	□	□	□
寒	□	□	□	□
庭	□	□	□	□
間	□	□	□	□
追	□	□	□	□
放	□	□	□	□
園	□	□	□	□
速	□	□	□	□
感	□	□	□	□
悲	□	□	□	□
部	□	□	□	□
速	□	□	□	□
感	□	□	□	□
放	□	□	□	□

どちらが先に書かれていても正しく選んでいけば○です。